

## 令和5年度土佐和紙商品開発支援事業委託業務の公募型プロポーザル審査要領

令和5年度土佐和紙商品開発支援事業委託業務の公募型プロポーザル方式の審査に関する事項を次に定めます。

### 1 審査の対象となる事業者

審査は、次の各号をすべて満たす事業者を対象に行います。

- (1) 別途定める「令和5年度土佐和紙商品開発支援事業委託業務プロポーザル募集要領」（以下「募集要領」という）に規定する資格要件を満たす参加者
- (2) 募集要領に規定する期限内に、必要な書類の全てを提出した参加者
- (3) 募集要領により、適正に書類を作成した参加者

### 2 審査の項目及び点数

総合点数は200点とし、審査項目ごとの配点は次のとおりとします

(1) 業務理解度	(20点)
(2) 土佐和紙情報発信（クリエイター等募集）	(40点)
(3) クリエイター等の選考について	(40点)
(4) 商品開発の進行管理	(40点)
(5) 実施体制・関連業務実績	(30点)
(6) スケジュール	(10点)
(7) 経費見積	(10点)
(8) その他	(10点)

### 3 審査委員会

参加者から提出された企画提案書に基づき、プレゼンテーションを行う審査会を開催します。

- (1) 日時、場所  
日時 令和5年5月22日(月) 13時30分～(予定) 別途通知します  
場所 ちより街テラス 第5会議室(予定)(高知市知寄町2丁目1-37)  
オンライン参加(zoom使用予定)も可
- (2) プレゼンテーション  
ア プレゼンテーションの時間は1社20分以内とします。  
イ 各社のプレゼンテーション終了後、審査委員からの質疑の時間を設けます。  
ウ プレゼンテーション開始時間等は別途お知らせします。  
エ その他、プレゼンテーションへの参加方法についても別途確認します。

### 4 審査の方法

- (1) 審査委員会では、提出された企画提案書に基づくプレゼンテーションに対する審査を行います。
- (2) 各審査委員は、プレゼンテーションと質疑の終了後、別途定める「審査基準」に基づいて審査を行います。
- (3) すべての参加者の審査が終了したときには、各審査委員の審査結果を集計後、候補者と次点者を決定します。なお、最低基準点は各審査委員の平均で120点とし、審査の結果、平均点がこれを下回った事業者については選定しないこととします。(参加者が1事業者のみであっても、同様とします。)
- (4) 審査の結果、最高点の者が同点で2社以上ある場合は、経費見積が安価な者から順に候補者と次点者を決定します。

審査基準（別表）

	審査の項目	配点	審査の視点	審査の視点の具体例
(1)	業務理解度	20	業務の内容と事業目的を正しく理解できているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本業務の内容について、十分に理解し、事業目的に沿った考えが記載されているか</li> <li>・事業目的の達成に向けた手法が提案されているか</li> </ul>
(2)	土佐和紙情報発信（クリエイター等募集）	40	県内外のクリエイター等へ情報を発信する具体的な方法が提案されているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クリエイター等の応募を確保するために、活用できるネットワークを有しているか</li> <li>・自社リソースを活用した情報発信の方法（仕組み）が提案されているか</li> </ul>
(3)	クリエイター等の選考について	40	クリエイター等の選考方法について提示されているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クリエイターを選考するための手法が提案がされているか</li> <li>・クリエイターと生産者を繋げる事業実績など、本業務の遂行に参考となるノウハウを有しているか</li> </ul>
(4)	商品開発の進行管理	40	和紙生産者やクリエイター等との連絡調整などについて示されているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商品開発を円滑に進めるための手法が提案がされているか</li> <li>・商品開発において、効果的な助言を行えるノウハウやリソースを有しているか</li> </ul>
(5)	実施体制・関連業務実績	30	仕様に掲げる業務内容を達成するために十分な実施体制、ノウハウが整っているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務の目的を達成するための体制及び必要な知識や技術を持った人員配置となっているか</li> <li>・業務達成の参考となる類似事業の実績を有しているか</li> </ul>
(6)	スケジュール	10	事業目的を達成する適切なスケジュールか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・期間内に本業務の完了が可能な、無理のないスケジュールとなっているか</li> </ul>
(7)	経費見積	10	見積りは適正か	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予算の範囲内であり、積算内訳及び根拠が明確に示されているか</li> <li>・仕様に掲げた業務経費が全て計上されているか</li> <li>・過剰な経費見積もりとなっていないか</li> </ul>
(8)	その他	10	仕様書に定める事業内容と関連した独自の提案があるか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自社リソースやノウハウを活用し、商品完成後を視野に入れた提案がされているか</li> </ul>